

怒ってくれる人

第20期生 新家 舞桜

先日、近所のカフェに行ったら、店員さんが私の小学校の同級生だったらしく、話しかけてくれた。私は、彼のことを全く覚えていなかった。約10年前の小学校のことなどほとんど覚えていない。唯一、覚えていることといえば、友達を泣かせてしまい、担任の先生に怒られたことである。中学校や高校のことを振り返ると、バレーボール時代の鬼顧問に怒られたことを一番に思い出す。

小野ゼミでの2年間ではどうだろうか。楽しかったことや大変だったことなど、たくさんの思い出があるが、一番強く覚えているのは、3年生の5月に19期の先輩に怒られたことである。なぜ、怒られたのかというと、ゴールデンウィークの唯一の休日に、同期との話し合いを休み、葵ちゃんと他2人と江ノ島に行ってしまったからである。だって、飽きちゃっていたんです！ゼミ、授業とコトラーだけの日々に！翌日の本ゼミ終了後、第19期の先輩方に、「ゼミ活動を第一優先にするべきだ。」と怒られた。その時は、無礼な態度をとってしまったが、冷静になると、すぐに19期の先輩方が怒ってくれたことのありがたみがわかった。そして、ゼミへの向き合い方を改めることができた。

また、私が先輩の立場になると、後輩を怒るということの難しさを実感した。自分が知っていることを教えることや困っている時に手を貸すこと、何か作成してきたものに対して意見することは簡単だが、ダメな行動や良くない態度を指摘することは難しい。怒ることは自分の精神もすり減らすし、かわいい後輩とは仲良くしていきたいので…。今になって、第19期の先輩方の強さと優しさを改めて実感しました。本当に、ありがとうございました。

小野先生からも、目上の方への態度やスケジュール管理、飲み会での振る舞い方など、細かいことまでたくさん怒られた同期や先輩、後輩に怒っている姿もたくさん見てきた。その度に、多くの学びと小野先生の優しさを感じていた。小野先生、本当にありがとうございました。

年齢を重ねるたびに、私を怒ってくれる人は少なくなっている気がする。大学卒業後、私が何か良くないことをしてしまった時に、怒ってくれる人はいるのだろうか。もうこれからはいないかもしれない。これからは、自分で自分を怒れるようになりたいし、これまで私を怒ってくれた方々のように他人を怒れるような強くて優しい人になりたい。

最後に、小野ゼミで関わってくださった全て皆さんに感謝の気持ちを伝えたいと思う。2年間本当にありがとうございました！！皆さん大好きです。